

今年度は、様々な地域学校協働活動の取組を紹介してきました。これらの活動には、必ず子どもたちの充実した学びの姿と、関わった保護者や地域の皆さんの笑顔がありました。今回は、高野山小学校で行われた職業人講話会と、湖北台近隣センターで行われた湖北台西小学校の卒業記念発表会の様子を紹介します。

【高野山小学校 「夢のとびらプロジェクト」】

1月23日に、高野山小学校の6年生が、Abi-キャリア（キャリア教育）の一環として、「夢のとびら」プロジェクトの学習を行いました。

この日は、子どもたちの希望をもとに近隣の地域で活躍している職業人の方が講師として参加した、職業人講話会が行われました。

授業の進行は、地域学校協働活動推進員が担います。最初は、全体で自己紹介です。仕事の内容を簡単に説明し、さらに「自分の仕事のかわいいところ」を紹介していきます。どの方も、自分の仕事の魅力について力強く語ってくださいました。自己紹介のバトンは、その場にいた6年生の担任の先生方や、校長先生にも渡り、講師だけでなく、学校の先生の魅力も子どもたちに伝わっていました。

続いて、子どもたちは各ブースに分かれて、講師のお話を聞きます。子どもたちは、自分の興味のある職業の話に夢中になって聞き入っていました。

まずは、それぞれの仕事の魅力を紹介
その場にいた学校の先生方も！



学びと仕事と夢がつながっていました！



講師の話聞いた後、子どもたちはさらに感想や質問を付箋に書いて講師の皆さんに投げかけます。講師の皆さんは、それに対してさらに返事を書いてくれ、最後はそれを廊下に貼りだして、6年生全員が共有できるようにしてくれました。

今回の授業を実施するにあたっては、地域学校協働活動推進員が企画調整を行い、講師の皆さんに呼びかけ、講師の皆さんも快く引き受けてくださったそうです。講師の皆さんの中には、いくつもの仕事をされている方や、さらなる夢をもって活動している方もいました。

「これからの時代、仕事は1つだけじゃない。やりたいことを3つも、4つもいっぺんにできる可能性がある。仕事は『〇〇しなければならない』というイメージを変えられたらよい」という推進員さんの言葉が、とても印象的でした。講師の皆さんの熱い思いが、会場にいる全員にしっかりと伝わったことを感じた学習でした。

【湖北台近隣センター 湖北台西小学校6年生 卒業記念発表会】

2月20日に湖北台西小学校の6年生が、湖北台近隣センターで卒業記念発表会を行いました。

この発端は、1学期の道徳の授業を受けて、子どもたちに「自分たちも地域の役に立ちたい」という思いが沸き立ったところがありました。いつもお世話になっている地域の方に、自分たちのできることで貢献したいと考えを巡らせる子どもたち。

このことと並行して、学校とまちづくり協議会は、令和4年度からコミュニティ・スクールとなったこともあり、子どもたちのために、どんな連携・協力ができるか話し合っていました。(スクラム No.5 参照) そんな折、6年生の思いを知った学校は、7月の話し合いで、6年生と地域との交流会の企画を提案し、ここから、学校とまちづくり協議会との協働がスタートしました。(スクラム No.7 参照)



6年生は、湖北台近隣センターを舞台に、地域の方と交流会ができることになりました。自分たちの得意を生かして地域の方に楽しんでもらうことで、地域に貢献したい。子どもたちは、総合的な学習の時間を中心に、自分たちの力で企画や準備を進めました。一方まちづくり協議会は、そんな子どもたちの企画をバックアップするため、会場の手配から、会場内の掲示物や看板の準備、また地域の方への広報など、学校と役割を分担して進めていきました。

そして、いよいよ本番となった当日。校長先生は、最初の挨拶で6年生たちを「あと17日で卒業です。今日しっかりと顔を覚えてください。これから地域で活躍する人材になります。ぜひ頼りにしていただきたい。そして応援をよろしくお願いします。」と紹介。子どもたちはその期待に応えて、緊張しながらも、司会進行からPCの操作、そして、それぞれの得意を生かしたPCを使った学校紹介、ダンス、なわとび、マジック、演劇などのグループ発表を精一杯務めていました。その陰には、バックアップに力を注いでくださるまちづくり協議会の皆さんの姿。また、会に参加した地域の民生委員、地区社会福祉協議会、そして保護者の皆さんは、6年生の軽妙なトークや個性豊かな発表に笑顔と拍手で応えていました。後半のおまつりタイムでは、6年生が準備した射的やコマ、輪投げ、西っ子じゃんけん、魚釣り、おみくじなど、縁日のような時間を大人も子どもも楽しみました。



最後に、まちづくり協議会の会長さんから、「今回、初めて6年生が地域の方と交流しようと企画して発表した。6年生の皆さんにとって素敵な思い出となったらよい。4月から中学1年生、これだけできた皆さんですから、胸を張って、元気に中学生になってください。」とエールが送られ、閉会となりました。

6年生は、小学校の最高学年として活躍し、成長していきます。今回のように、学校という慣れた場所から一歩外に出て、自分たちの力が通用するかを試すことのできる経験は、子どもたちにさらに自信をつけ、勇気をもって中学校へ進み、そして地域社会へと出ていくことにつながると実感しました。

